信州大学山岳部 活動報告　―教養部―

はじめに

信大山岳部では、伊那松本山岳部　長野山岳部　上田山岳部から委員を出し合い、委員会を持って信大山岳会(SAC)というものを運営して、オール信大的な方向で活動しています。その中で教養部の部員は直接委員会に所属してその指導をうけ、山行(又は合宿山行)は各部の計画に参加したり、又は松本に居る部員同志による山行を行っています。

合宿報告

1.新人合宿　　4月29日～5月5日
この合宿はオール信大で恒例の徳本峠に始まり、一年生にとって初めての合宿である。一年生対称の雪上訓練と上級生の技術練磨を計っての合宿で、穂高岳涸沢周辺で行われた。一年生部員13名ほどえらくしごかれる。天候に恵まれてかなりの成果を上げた。

2.雪上訓練合宿　　5月31日～6月3日
針の木谷の雪渓にて、新人合宿のものにさらに訓練すべく入山。雪上訓練の後蓮華岳、針の木岳に登頂。

3.夏山合宿　　7月21日～8月22日
前半は伊那、長野の各パーティーに加わり、南ア、北ア、飯豊の山々を縦走し、後半は穂高岳奥又白谷にて岩登り合宿に参加した。

4.秋山合宿　　9月29日～10月6日
穂高岳涸沢にて岩登り主体の定着合宿。教養部生8名参加。紅葉の穂高の岩稜など歩きまわった。

5.雪上訓練合宿　　11月23日～24日
八方尾根にて長野山岳部員の指導の下に、アイゼン歩行練習の後、翌日一年生全員アイゼンをきしませて、風強い唐松[illegible]

[illegible]

[illegible]　　7月11日～8月20日
各部員4日程のノルマでキ[illegible]ーをする。地元の信大はもちろん、関東、関西の学生、一般の人々、東北、九州からも泊りにきた人々で大盛況。多い時には一般50名ほどになる時もあった。部員のキーパーは、山の案内、ファイヤーマスターなどもして大忙し　もともと一般の学生、人々に山登り、山の生活を楽しんでもらおうという主旨で始められたものであるが、今も好評のうちに終了した。

あとがき

部(SAC)で主催した合宿はこれだけであるが、その他合宿の合い間に個人山行も自己の登山技術その他を自差して、北アルプスを中心に活発に行われている。
目下、20日間前後にわたる北アルプス冬山合宿へ備えて準備中である。

冬山合宿計画

赤沢山東南尾根から槍ヶ岳往復のあと、燕岳まで縦走　12月26日～1月16日
教養部生3名参加

遠見尾根より鹿島、五龍、唐松の登頂　12月25日～1月10日
教養部生4名参加

燕岳―槍ヶ岳　12月20日～1月4日
教養部生1名参加

八方尾根　12月24日～12月31日
教養部生1名(女子)参加

その他、台湾の冬山に向かう部員(教養部生)もある